

令和 5年度 事務事業評価表（個票）

課名 健康推進部地域包括ケア推進課

作成日 令和 6年 8月 1日

概要	施策名	高齢者保健・福祉	基本目標	健康で福祉が充実したまち
	施策の目的	高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで自分らしい生活を送ることができる社会を実現すること。		
施策の方向		認知症施策の総合的な推進		
令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	認知症の人やその家族を支援するための相談支援体制の充実や、行方不明時の見守りに関する事業の普及啓発が進み、概ね計画どおりとなった。認知症サポーターの養成者数は計画値に達していないものの、養成したサポーターが地域で認知症の人やその家族を支えるボランティアとして活動できるような支援を進める事ができた。また、若年性認知症の人への支援として本人ミーティングを新たに開催、若年性認知症本人を講師とした講演会等の実施や本人と家族を一体的に支援する事業に積極的に取り組み、認知症施策の総合的な推進に寄与した。		
今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善	令和 6年 3月策定の高齢者保健福祉計画等に基づき、改善充実を図りながら引き続き各種事業を継続する。認知症地域支援推進員による地域づくりの強化を図るため活動の整理を行うとともに、個別相談や事業では認知症の人及びその家族の視点を重視し、話しやすい環境や機会を提供していく中でニーズを把握し、認知症施策への反映に努め、認知症施策を推進していく。		

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト（事業費：千円）				
				令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	令和 4年度 決算	令和 5年度 当初予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 当初予算	
1	認知症高齢者見守り事業（地域包括ケア推進課）											
	全体事業概要											
	①	認知症サポーターの養成者数	人	404	10840	10,412	11420	262	426	365	491	
	②	認知症サポーター養成講座の開催回数	回	18	25	26	24					
	③	認知症高齢者等見守り登録事業の登録者数累計	人	145	123	180	185	令和 7年度の優先度				
	令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	認知症サポーター養成講座は、一般住民のほか金融機関やスーパーマーケット、専門学校等で実施し、幅広い年齢層への知識の普及を行った。計画値には達していないが、ちらしや広報等で周知を行うとともに、講師の活動支援を行い開催回数の増加に努めた。見守り登録事業に関しては市内医療機関や企業、居宅介護支援事業所へ周知を行い、目標を上回る登録者数となった。									
事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		今後の方向性 (改善措置等)	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 認知症サポーター養成講座の開催に向け、さらなる周知や開催方法の工夫を行っていく。認知症サポーターの量的な拡大を図る事に加え、認知症サポーターがより学びを深め、認知症の方やその家族を支える担い手となることができるよう、他事業と連携しながら育成していく。見守り登録事業に関しては今後も周知活動を継続し、地域での見守り体制づくりの推進を図っていく。								
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象											

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト（事業費：千円）				
				令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	令和 4年度 決算	令和 5年度 当初予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 当初予算	
2	認知症初期集中支援推進事業											
	全体事業概要											
	①	認知症初期集中支援チームのチーム員人数	人	9	9	9	9	379	1,046	692	969	
	②											
	③							令和 7年度の優先度				
	令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	認知症サポート医1名、地域包括ケア推進課より3名、各地域包括支援センターよりそれぞれ1名ずつ選出し、9名でチーム員を構成。定期的にチーム員会議等で事例検討を行いながら、初期集中支援を実施した。また自分のできる認知症の気づきチェックリストの送付により早期からの相談を促し、定期的なもの忘れ相談会を開催し対象者の把握に努めた。									
事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員との連携を深め、各圏域で初期集中支援ができるようにしているとともに、チームの周知を行う。認知症疾患医療センターや三島市医師会等、関係機関との情報共有を図り、ファイブ・コグ、もの忘れ相談、自分のできる認知症の気づきチェックリストなど他事業と連携して早期からの支援に繋げていく。								
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象											

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。

令和 5年度 事務事業評価表（個票）

課名 健康推進部地域包括ケア推進課

作成日 令和 6年 8月 1日

概要	施策名	高齢者保健・福祉	基本目標	健康で福祉が充実したまち
	施策の目的	高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで自分らしい生活を送ることができる社会を実現すること。		
施策の方向		認知症施策の総合的な推進		
令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	認知症の人やその家族を支援するための相談支援体制の充実や、行方不明時の見守りに関する事業の普及啓発が進み、概ね計画どおりとなった。認知症サポーターの養成者数は計画値に達していないものの、養成したサポーターが地域で認知症の人やその家族を支えるボランティアとして活動できるような支援を進める事ができた。また、若年性認知症の人への支援として本人ミーティングを新たに開催、若年性認知症本人を講師とした講演会等の実施や本人と家族を一体的に支援する事業に積極的に取り組み、認知症施策の総合的な推進に寄与した。		
今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善	令和6年3月策定の高齢者保健福祉計画等に基づき、改善充実を図りながら引き続き各種事業を継続する。認知症地域支援推進員による地域づくりの強化を図るため活動の整理を行うとともに、個別相談や事業では認知症の人及びその家族の視点を重視し、話しやすい環境や機会を提供していく中でニーズを把握し、認知症施策への反映に努め、認知症施策を推進していく。		

No.	事務事業名		活動内容				コスト（事業費：千円）				
	活動指標名	単位	令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	令和 4年度 決算	令和 5年度 当初予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 当初予算	
3	認知症地域支援・ケア向上事業										
	全体事業概要										
	①	認知症地域支援推進員の人数	人	8	8	8	8	5,703	7,613	7,049	8,969
	②	認知症カフェの利用延べ人数	人	1,789	1,550	2,257	1,575				
	③	認知症本人ミーティング及び家族会の開催回数	回	17	16	16	17	令和 7年度の優先度			
							<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D	
	令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	認知症地域支援推進員を8人配置し、認知症カフェや相談支援、認知症に関する普及啓発を通じて、認知症の人と家族を支える事業を推進した。認知症カフェについては、感染症対策を考慮しつつ市内5か所及び出張にて実施し、前年度を上回る参加者数となり、地域の居場所となっている。認知症家族会や本人ミーティングを通して意見交換を行い、認知症の人と家族のニーズを取り入れた事業を行うことができた。								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他	今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	認知症地域支援推進員を継続配置する。直営の認知症カフェにおいては、今後も認知症の人及びその家族や地域住民の居場所・交流の場として機能するよう効果的な運用を進め、各地区の認知症カフェにおいては継続した運営支援を行っていく。事業内で把握した認知症本人や家族のニーズを踏まえ、施策の展開を図る。						
	計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象									

No.	事務事業名		活動内容				コスト（事業費：千円）				
	活動指標名	単位	令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	令和 4年度 決算	令和 5年度 当初予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 当初予算	
4	認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業										
	全体事業概要										
	①	チームオレンジ配置数	チーム	1	1	1	1	40	127	30	117
	②										
	③							令和 7年度の優先度			
							<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D	
	令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	認知症サポーターの更なる活躍の場として、令和3年4月にチームオレンジを1チーム設置した。チームオレンジコーディネーターを3名配置し、定期的な連絡会を通じた活動支援やチームの周知を実施した。また、チームオレンジと協働で認知症の普及啓発を実施し、地域での活動を進めることができた。								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他	今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	チームオレンジの活動周知をすすめるとともに、チームオレンジ連絡会を通じて、活動の更なる充実を図っていく。また、新たなチームオレンジの設置に向け、チームオレンジコーディネーターが中心となり、認知症サポーターステップアップ講座及びフォローアップ研修を企画に携わっていく。						
	計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象									

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。